

### 青海波

どこまでも広がる大海原と、絶えず繰り返される穏やかな波のように、平穏な暮らしがいつまでも続くように、という願いを込めた吉祥文様です。青海波という名前は、源氏物語にも登場する舞臺の舞曲の名前から付けられたとも言われています。

### 青海波

どこまでも広がる大海原と、絶えず繰り返される穏やかな波のように、平穏な暮らしがいつまでも続くように、という願いを込めた吉祥文様です。青海波という名前は、源氏物語にも登場する舞臺の舞曲の名前から付けられたとも言われています。

### 麻の葉

麻が丈夫で成長が早いことから、手間をかけなくても大きく育つこと、麻の葉の模様そのものに邪気を払う力があるとされ魔除けの意味もあり、着物や長襦袢のほかに新緑物に使われていた。子どもの産着として現代でも用いられている。

### 麻の葉

麻が丈夫で成長が早いことから、手間をかけなくても大きく育つこと、麻の葉の模様そのものに邪気を払う力があるとされ魔除けの意味もあり、着物や長襦袢のほかに新緑物に使われていた。子どもの産着として現代でも用いられている。

### 市松

古墳時代より埴輪の服装や法隆寺正倉院の染織品にも見られる幾何模様で、公家の有職故実では石畳・雲（あられ）と称されていました。江戸の歌舞伎役者、初代佐野川市松が舞台上でこの模様の袴を履いたことから、のちに市松模様と呼ばれ広く人気が大お洒落な柄です。

### 市松

古墳時代より埴輪の服装や法隆寺正倉院の染織品にも見られる幾何模様で、公家の有職故実では石畳・雲（あられ）と称されていました。江戸の歌舞伎役者、初代佐野川市松が舞台上でこの模様の袴を履いたことから、のちに市松模様と呼ばれ広く人気が大お洒落な柄です。

### 豆紋

めでたい代表的な柄で、ひょっとこがふっているのもこの柄です。祝前さんやお祭りのときに無くしてはならないめでたく元気な柄として昔から広く親しまれています。

### 豆紋

めでたい代表的な柄で、ひょっとこがふっているのもこの柄です。祝前さんやお祭りのときに無くしてはならないめでたく元気な柄として昔から広く親しまれています。

### 矢絰

日本では非常に古くから使われている模様で、本来は矢羽模様の袴を穿てしていました。江戸時代に、結婚の際に矢絰の着物を持たせると法戻ってこない（射た矢が戻ってこないため）と言われるようになり、女性の間で人気の柄となりました。

### 矢絰

日本では非常に古くから使われている模様で、本来は矢羽模様の袴を穿てしていました。江戸時代に、結婚の際に矢絰の着物を持たせると法戻ってこない（射た矢が戻ってこないため）と言われるようになり、女性の間で人気の柄となりました。

k o m o n

日本の心を今に伝える

k o m o n

日本の心を今に伝える